

令和4年度
性の多様性に係る「児童生徒用リーフレット」
指導資料集



埼玉県マスコット
「コバトン&さいたまっち」

令和5年3月
埼玉県教育局市町村支援部人権教育課

目 次

1	性の多様性の尊重についての基礎知識	1
2	授業展開例	6
○	活用にあたっての留意点	7
(1)	小学校①	8
(2)	小学校②	12
(3)	中学校①	16
(4)	中学校②	25
(5)	高等学校①	29
(6)	高等学校②	36
3	参考資料等	42
(1)	全体計画（中学校の例）	43
(2)	年間指導計画（中学校の例）	44
(3)	性の多様性関連用語集	45
(4)	関連資料	47

1 性の多様性の尊重についての基礎知識

全ての教職員が性の多様性について理解し、全てのセクシュアリティの児童生徒が安心して通うことができる学校づくりを推進するため、令和2年に『性の多様性の尊重』に係る教職員用リーフレット」を作成しました。

リーフレットは、人権教育課ホームページからダウンロードして活用できます。

ここではリーフレットの内容を基にして、性の多様性に関する基礎知識について解説していきます。児童生徒への指導にあたり、学校全体で共通理解を図っていただくようお願いします。

2. 性のあり方(セクシュアリティ)とは ～四つの要素・SOGIE～

- 今日、性のあり方(セクシュアリティ)は、男性・女性の2つだけではなく、主に次の4つの要素から成り立つと考えられています。性のあり方は、グラデーションのように、厳密には一人一人異なっていると云えます。

こころの性	男	女
からだの性	男	女
好きになる性	男	女
表現する性	男	女

これらの枠組で
あらかたない人や、
これらに当てはまらない人
もいます。

(この図のあらわし方は一例です。)

《こころの性》×《からだの性》×《好きになる性》×《表現する性》＝セクシュアリティ
※性自認 ※身体性徴 ※性的指向 ※性表現

- 性のあり方について、性的少数者(の一部)を表現する「LGBT」を教えることに注力しがちですが、「SOGIE」(性的指向 Sexual Orientation, 性自認 Gender Identity, 性表現 Gender Expression の頭文字)という性を捉える要素の概念を使って、私たち一人一人の性のあり方の多様性と平等を伝えることが大切です。

LGBT
一部の人だけを指す



SOGIE
私たち一人一人の性のあり方を指す
一人一人が当事者

○性のあり方は、男性・女性の2つだけでなく、グラデーションのように一人一人異なる、多様であることを「こころの性」「からだの性」「好きになる性」「表現する性」の4つの要素を使って示しています。

○性の多様性を尊重するという事は、性的マイノリティ(LGBTQ)のみを取り上げるのではなく、全ての人に関わることと捉える視点を持つことが大切です。

3. 児童生徒へ きめ細かな対応を ～対応における留意点～



(1) 基本的な態度・対応

① 性の多様性は、私たち一人一人全員に関わるテーマ

- 性のあり方は厳密には一人一人異なっているため、性の多様性は私たち一人一人全員に関わるテーマと言えます。
- 性の多様性とは、性的少数者への理解だけを深めるというより、「自分自身を、性の多様性の中の一人として位置付け直す」ことです。性の多様性について考える時は、いつも「自分自身が含まれる」という認識が大切です。
- 性の多様性について、自分自身を含めた一人一人の違いを認識する捉え方は、多様性を尊重し、互いに認め合う人間関係を育むとともに、いじめの未然防止にもつながります。

② 心無い言動は絶対にさせない環境づくり

- 「オネエ」「オカマ」「ホモ」「レズ」といった言葉は、差別的な意味合いを含み、使用してはならない言葉です。
- 性的少数者の存在を否定するような内容の言動も心無い言動です。教職員自身も強く認識する必要があります。
- 学校生活の中でそうした言動が見られた場合は、それが人権侵害だということを伝え、その場で指導し、学習課題とする必要があります。

③ 全てのセクシュアリティの児童生徒が安心して通える学校の環境づくり

- 全てのセクシュアリティはともに尊重されるべきものであること、また、セクシュアリティについて、教職員が悩みや不安を聴く姿勢であることを、普段から児童生徒や保護者、地域に伝えていくことが大切です。
- 性のあり方について完璧に説明できる必要はありません。児童生徒にも教職員と一緒に学んでいる姿勢を見せていくことが何より大切です。

・平成27年4月30日付け 27文科物生第3号「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について」
・平成28年4月1日付け 文部科学省初等中等教育局児童生徒課用知資料「性別一貫障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について(教職員向け)」

○学校における全ての教育活動を通じて、あるいは相談対応など特定の場面で、教職員が留意すべき事項です。

(2) 児童生徒からセクシュアリティに関する相談があった場合

- 児童生徒からの相談に応じる際は、子供たちに寄り添い、丁寧に聞き取りを行って事実を把握する「教育相談対応」が基本です。
- **しかし、セクシュアリティに関する相談の場合には、以下の点に留意し、異なる対応をすることが必要**です。

重要!!

- 児童生徒のセクシュアリティを決め付けず、その時にその児童生徒が直面している困難に対して一つ一つ対応策を考えていくことが大切です。
- なぜ話してくれたのか確認できることが望ましいです。知って欲しいだけなのか、具体的に困っていることがあって支援が必要なのかを確認します。児童生徒からの要望の中に実現が難しいことがあった場合、実現が難しい理由を伝え、代替案を一緒に考えます。
- 誰に話しているのか、話していいのかを確認します。セクシュアリティについて相談するかどうか、どこまで相談するかは児童生徒の自由です。児童生徒に強要してはいけません。
- 児童生徒が情報収集するための書籍、相談先等を必要に応じて伝えます。

①「カミングアウト」の強要
②「アウティング」
は、絶対ダメ!

(3) アウティングの禁止

- アウティングとは、「本人の意に反して、または同意なく他者にセクシュアリティを伝えること」です。
- 生命の危険の緊急性がある場合などを除き、アウティングは禁止です。
- 保護者も例外ではありません。保護者が受け止めきれず、その結果、児童生徒が家庭で居場所を失い、生存自体が脅かされる可能性があります。保護者に相談する必要がある場合にも、児童生徒の了承を得てから伝えましょう。
- 対応を考える際に、誰か(教職員や専門家など)と情報を共有する必要がある場合、その必要性や誰に話してもいいかを児童生徒に事前に話し、必ず承諾を得ることが大切です。

※ 埼玉県教育庁市町村支援部人権教育課(平成28年)「新たな人権課題に対応した指導資料」など

- 児童生徒から相談を受けた場合の基本的な対応の仕方を確認しておくことが大切です。
- 「アウティング」の禁止など、十分留意して対応を進めていく必要があります。

4. 具体的な取組例 ~全ての児童生徒が安心して過ごせる学校~

(1) 校内研修として、次のような点について教職員で話し合ってみる

- 改めて教職員、児童生徒の普段の言動を見直してみる。
- 校内で心無い言動を見聞きした時、どのように対応するかを具体的に考える。
- 性別で分けられている児童生徒の名前ラベルや配布物、役割分担などについて、本当に必要かどうか考えてみる。

(2) 教職員が関心をもっており、肯定的に受け止める用意があるサインを出す


- 性の多様性について、ホームルームで話したり、学級通信や保健だより等に掲載したりする。
- 図書室や保健室、教室に性の多様性に関する書籍を置く。
- 性の多様性のポスターを校内に掲示する(※「性の多様性の尊重に係るポスター(令和2年2月28日、埼玉県教育委員会)」等)。

(3) 性の多様性を前提とした言動を心がける

- 「いろいろな人がいていいんだよ」というメッセージを送り続ける。
- 児童生徒の呼称を、名前+「さん」と統一してみる。
- 「~らしくない(女らしく・男らしく)」などと言わない。

(4) 偏見や差別を防ぎ、多様性の尊重を意識した指導を児童生徒に行う

- 既存の教材において、多様な性が対等に扱われているか見直す。
- 「人権感覚育成プログラム(学校教育編)第2集(平成31年3月、埼玉県教育委員会)」の各プログラム(140ページ~159ページ)を活用して授業実践する。
- 児童生徒にアウティングは絶対にしてはならないことを伝える。その一方、カミングアウトをされた児童生徒が一人で抱えきれなくなったり悩んだりすることも考えられる。その場合、個人が特定されない範囲で、信頼できる大人に相談するのはよいことであると伝える。大切なことは他者の違いを尊重するための方法を考えることである。



- 性の多様性の尊重に関連して、日々の学校生活における具体的な取組の例です。
- 「全ての児童生徒が安心して過ごせる」という視点が大切です。

5. 性の多様性 関連用語集	
	 性の多様性の尊重を表す 6色のレインボーカラー
アウトティング	ある人のセクシュアリティを、その人の同意なしに周囲に言いふらしてしまうこと。
アセクシュアル(無性愛者)	恋愛感情や性的欲求をもたない人。「A(エイ)セクシュアル」ともいう。
アライ(Ally)	自分のジェンダーやセクシュアリティにかかわることだけではなく、自分とは異なるジェンダーやセクシュアリティをめぐる差別問題を自分の問題として理解し、行動する人。
Xジェンダー	男性、女性、どちらでもない、もしくは、どちらでもある性別として生きたい人。海外ではノンバイナリー(NB)、ジェンダークエアともいう。
LGBT(LGBTQ)	レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字を取り、それぞれの差異と連帯を表した言葉。クエスチョニングを加えてLGBTQと表す場合もある。
カミングアウト	これまで公にしていなかった自分のセクシュアリティを自分の意思で他の人に伝えること。閉じこもっていたクローゼットから表に出ていくことが語源とされている(coming out of the closet)。
クエスチョニング	自らのジェンダー/セクシュアリティについて、明確なアイデンティティをもっていない(あるいは、より積極的にもたない)人。あるいは、性自認や性的指向の区分自体に疑問を感じ、敢えてもたない人。クエアともいう。
シスジェンダー	生まれたときに割り当てられた性別と、自分が社会的、感情的、身体的に認識している性別(性自認)とが一致していること/人。多数の人がシスジェンダーであり、「普通」「当たり前」とはいわない。
ジェンダー	人を「女」「男」という2つのカテゴリーに分別する、社会的文化的な規範ないし観念。
性自認(ジェンダー・アイデンティティ/性同一性)	自らがどんな性別である/ない、と考えるのかなど、自分が社会的、感情的、身体的に認識している性別のアイデンティティ。
ジェンダー・バイアス	性別による偏見や固定観念。「男らしさ」「女らしさ」は、性別により固定されるものではない。
ジェンダー・フルイド	固定的な性自認をもたず、流動的な性を自認して生きること/人。
性的指向(セクシュアル・オリエンテーション)	自分がどのような性別の人に性的・恋愛的に惹かれるか、惹かれないか、という方向性のこと。異性愛、同性愛、両性愛、全性愛、無性愛などがある。
性同一性障害(Gender Identity Disorder:GID)	体の性に違和感、不快感をもち、体を変え、性自認と一致した性で生きたいと強く望む人が治療を受ける際の診断名。なお、「性同一性障害」の位置付けは、WHOによるICD-11(国際疾病分類)では、「精神疾患」及び「障害」から除外され、性の健康状態における「性別不台(gender incongruence)」に変わった。
性別表現/性表現	服装や髪型などの見た目や、言動などで表現される性。「ジェンダー・エクスプレッション」ともいう。
生物学的な性(セックス)	生物としてのヒトを「メス」「オス」という2つのカテゴリーなどに分別する生物学・解剖学的知見。
セクシュアリティ	人間の多様な性のあり方の総称。社会的、生物学的、心理的、法的、文化的などの側面を含む。
セクシュアル・マイノリティ(性的少数者)	その人の性のあり方がマジョリティ(多数者)とは異なる場合、セクシュアル・マイノリティ(性的少数者)と呼ぶ。LGBTQなどを含む。
SOGI(ソギ、ソジ)	Sexual Orientation(性的指向) and Gender Identity(性自認)の頭文字を取った言葉。性的に多数派にあたる人とセクシュアル・マイノリティの人を区別せず、すべての人の性の多様性について考えることができる概念として国際的に用いられている。また、Expression(性表現)を加えた「SOGIE」(ソジー)などの言葉も使われる。
トランスジェンダー	生まれたときに割り当てられた性別とは異なる性別で生きること/人。生まれたときに男性が割り当てられたが、女性として生きる人/生きたい人をトランス女性(MTF[Male to Female])といい、生まれたときに女性が割り当てられたが、男性として生きる/生きたい人をトランス男性(FTM[Female to Male])という。
バイセクシュアル(両性愛者)	性的指向が異性と同性の両方に向いていること/人。
パンセクシュアル(全性愛者)	相手の性別、セクシュアリティにかかわらずすべての人が性愛の対象となること/人。
ヘテロセクシュアル(異性愛者)	自分の性自認からみて性的指向が異性に向いていること/人。
ホモセクシュアル(同性愛者)	自分の性自認からみて性的指向が同性に向いている人。女性同性愛者は「レズビアン」、男性同性愛者は「ゲイ」という。※ホモやレズといった省略形は差別的に響く。

○性の多様性に関連する用語の解説です。

6. 学校以外のコミュニティ

◇ セクシュアル・マイノリティ(かもしれない)子供が安心して集える場や、セクシュアル・マイノリティの子供を持つ親の会など、県内外で様々な活動を行っている団体やコミュニティを知っておくことも重要です。

【監修】 埼玉大学 基盤教育研究センター 渡辺 大輔 准教授

【発行】 埼玉県教育局市町村支援部人権教育課 埼玉県人権教育課 性の多様性の尊重 HP 検索

TEL:048-830-6786 FAX:048-830-4961

<令和2年12月発行>



○県内には、児童生徒本人や保護者、支援者等を対象とした様々なコミュニティがあります。

2 授業展開例

県が作成した、性の多様性の尊重に係る児童生徒用リーフレット「たくさんの色 ふれ合おう。」を使用して性の多様性の尊重について指導するための授業展開例です。

小・中・高等学校の各校種それぞれリーフレットの前半2ページを中心とした授業展開例、後半2ページを中心とした授業展開例の2種類を作成しました。

授業展開例に加え、人権教育上のねらい、関連する教科等及び具体的な活用場面を記載しています。

各学校で児童生徒の実態等に合わせて工夫して活用してください。

活用にあたっての留意点

- 各授業展開例は、学級活動（小・中学校）、ロングホームルーム（高等学校）を想定して作成しました。また、人権教育上のねらい、関連する教科等、具体的な活用場面を記載しました。

どのようなねらいを設定するのか、どの教科等に関連付けて授業を実施するのか、どのような場面で指導を行うのかなど、各学校の状況、計画、児童生徒の実態等に合わせ実施してください。

- 学校における人権教育全体計画及び年間指導計画への位置付けについて、中学校の例を本資料3「参考資料等」に掲載しました。

- 授業を実施するにあたり、「児童生徒の中にはLGBTQ当事者がいるかもしれない」ということを前提に、多様性の尊重を意識した指導をお願いします。

心がけていただきたい言動などについては、本資料1「性の多様性の尊重についての基礎知識」にも掲載した教職員用リーフレットを御確認ください。

また、児童生徒の中にLGBTQ当事者がいることが分かっている授業を実施することも考えられます。この場合、当該児童生徒の意向や相談状況等（*）に配慮し授業を実施してください。

* 当該児童生徒の意向や相談状況等

- ・ 授業者、担任と当該児童生徒の相談対応等の状況

どのような相談をしているのか、どのような配慮を行っているのか等。また、性の多様性に係る授業を実施することについて当該児童生徒に伝えておくこと、場合によっては授業を受けずに他の場所で過ごすことを提案することなども考えられます。

- ・ 学級内における当該児童生徒と他の児童生徒との関係

カミングアウトをせず良好な関係を築いている場合、カミングアウトしており良好な関係を築いている場合、すでに本人がよそよそしさやわだかまりを感じている場合など、状況に応じた対応が必要です。

小学校・授業展開例①

- 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「多様性の尊重・共生」）
その人らしさを大切にすることについて学び、性にはいろいろなあり方があるということをつまえられるようにする。
 - ・関連する個別の人権課題：性的指向・性自認
- 関連する教科等
 - ・学級活動（2） 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
（イ よりよい人間関係の形成）
 - ・体育 G保健（2） ア 体の発育・発達について理解すること
（第3学年及び第4学年の内容）
 - ・特別の教科道徳 A [個性の伸長] B [相互理解、寛容]
- 具体的な活用場面
 - ・学級の人間関係ができはじめた時期
 - ・運動会の事前指導
 - ・校外学習（宿泊学習・修学旅行等）の事前指導
- 展開

時間	学習活動 発問（T） 児童の反応例（C）	教師の働きかけ（・） 人権教育上の配慮（◎）
導入 5分	<p>1 性別について考える。</p> <p>T 皆さんが知っている性はどのような分け方をしていますか。</p> <p>C 男と女、オスとメス、男性と女性</p> <p>T 生まれたときの性別や見た目では区別している性がありますね。では、このような経験はありませんか。「男子だから○ ○、女子だから○○」</p> <p>C 男子だから声を出しなさい。女子だからやさしい言葉を使いなさい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な経験から、児童が発言しやすいように声がけをする。 ・経験がないという児童には具体的な質問をして、自分の考えを言えるようにする。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>いろいろな性についてくわしくなろう。</p> </div>	
展開 30分	<p>2 男女の間での線引きについて考える。</p> <p>T 自分が経験したことで、「男・女」についてのおかしいなと思ったことはありますか。</p> <p>C 男はたくましく、女はやさしくした方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世の中には、「男はこうあるべき、女はこうあるべき」ということがたくさんあり、自分の気持ちの中にも知らず知らずのうちに「男、女」の線引きあるかもしれない、

	<p>がいい。</p> <p>C 男が泣くのはみっともない。</p> <p>C 料理が得意な女の人、いい奥さんになれる。</p> <p>T 身近なところ、または社会の中で、男女の差別がなくなった仕事はありますか。</p> <p>C 警察官や自衛隊の仕事に女性も就くようになった。</p> <p>C 保育士や病院の受付などを男性もやるようになった。</p> <p>3 性に関するクイズで考える。</p> <p>T 「心の性」と「身体の性」クイズ</p> <p>①「心の性」と「身体の性」は必ず一致する。…【×】</p> <p>②「心の性」と「身体の性」が一致しない人は全員が手術をして性別を変える。…【×】</p> <p>C クイズの答えを考える。</p> <p>T 「シスジェンダー」「トランスジェンダー」「性同一性障害」について説明する。</p> <p>C そのように感じる人もいるのか。</p> <p>T ③人間は皆、異性を好きになる。…【×】</p> <p>④同性を好きになるのは、おかしいことではない。…【○】</p> <p>⑤人はいつか男性・女性のどちらかを好きになる。…【×】</p> <p>C クイズの答えを考える。</p> <p>T 異性愛者（ヘテロセクシュアル）、同性愛者（ホモセクシュアル、レズビアン、ゲイ）、両性愛者（バイセクシュアル）について説明する。</p> <p>C 聞いたことがある言葉もある。</p> <p>T 無性愛者（アセクシュアル）について説明する。</p>	<p>ということに気付かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女の線引きがなくなってきたものに気づき、社会の動きが少しずつ変わってきたことについて考えさせる。 <p>◎自分の身体と心の性について違和感を抱いている児童もいる可能性もあるため、児童の様子を見ながら授業を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷やかしたり面白がったりするのではなく、自分もそのように考えることがあるかもしれないということを伝える。 ・児童が関心を持って学習できるように、クイズ形式を用いる。
<p>終末 10 分</p>	<p>4 本時の学習を振り返る。</p> <p>T 今日の学習の振り返りをしましょう。</p> <p>C 自分の好きなものを選んだり挑戦した</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習で新たに発見したこと、学んだことはないか質問をし

	<p>りするのはよいことで、性別には関係ない。</p> <ul style="list-style-type: none">・違う性を好きになったり同じ性を好きになったりすることがある。	<p>ながら書かせる。</p>
--	---	-----------------

ワークシート

皆が安心して生活できるように

年 組 名前

めあて

--

このような経験なかったかな……。 男子だから、女子だから……。

どんな気持ちになりましたか。

--

クイズ

自分の答え	正しい答え	大切な言葉
①		
②		
③		
④		
⑤		

振り返り

・心に残ったこと、新しく知った言葉、これからの生活に活かしていきたいこと。

小学校・授業展開例②

- 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「多様性の尊重・共生」）
性の多様性を尊重した周りの人おの関わり方について学ぶことで、全ての人の性のあり方を大切にすることができるようにする。
・関連する個別の人権課題：性的指向・性自認
- 関連する教科等
 - ・学級活動（2） 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
（イ よりよい人間関係の形成）
 - ・体育 G保健（2） ア 体の発育・発達について理解すること
（第3学年及び第4学年の内容）
 - ・道徳 A「個性の伸長」 B「相互理解、寛容」
- 具体的な指導場面
 - ・学級の人間関係ができはじめた時期
 - ・運動会の事前指導
 - ・校外学習（宿泊学習・修学旅行等）の事前指導
- 展開

時間	学習活動 発問（T） 児童の反応例（C）	教師の働きかけ（・） 人権教育上の配慮（◎）
導入 5分	1 「〇〇らしさ」について考える。 T 自分が「女らしさ」、「男らしさ」を決めつけていると感じるのは、どんなときですか。 C 男の子なのに、重いものが持てないとバカにされたとき。 C 女の子は、かわいい服装をしないといけないと言われたとき。	・児童からの発言がない時は、教師から自分の体験としての話をする ことで、児童が発言しやすい雰囲気をつくる。
自分や他の人の性のあり方を大切にするには、どうしたらよいか考えよう。		
展開 35分	2 行動について話し合う。また、そのような行動（*）をしている人への対応を考える。 T 「女だから」「男だから」などという言葉を使うことは良いでしょうか。 C 「女らしさ」、「男らしさ」を決めつけてはいけない。 C 「男」・「女」は関係ない。	*「そのような行動」とは、その人の性のあり方を認めない発言をしたり、からかって笑いものにしたりすること。 ・ワークシートの「理由」の欄には、理由の他にどのように対応するかも考えたら記述するように伝える。

<p>T 「好きな男の子（女の子）は？」と聞くことは良いでしょうか。</p> <p>C 好きな人は異性かわからないので、男の子などと決めつけてはいけません。</p> <p>C 「好きな人はいる？」などと言う。</p> <p>T 性のあり方を、笑いやからかいのネタにするのは良いでしょうか。</p> <p>C 人の性のあり方はいろいろあるので、笑ったり、からかったりするのはいくつかのことだと言う。</p> <p>T 「オカマ」「オネエ」などの言葉を使うことは良いでしょうか。</p> <p>C 「オカマ」や「オネエ」は差別であるからいけない。</p> <p>T 共通する問題点は何でしょうか。</p> <p>C 相手のことを考えていない。</p> <p>C 勝手な思い込みをしている。</p> <p>C 「男らしく」「女らしく」と決めつけて否定している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 性のありかたを勝手に決めつけてはいけないことを伝える。 • 言った本人は悪気がなかったとしても、周囲からのこうした言動が小さな傷となり、それが積み重なって苦しんでいる人がいることを伝える。 • 必要に応じて、「レズ」や「ホモ」などの省略形も差別的な意味をもつ言葉であることを伝える。 <p>※レズビアン （女性を恋愛対象とする女性） ホモセクシュアル （同性を恋愛対象とする人）</p>
<p>自分や他の人の性のあり方を大切にするには、否定せず、自分やその人らしさを大切にします。</p>	
<p>3 性の多様性リーフレット「3.ほかの人の性のあり方を大切にしよう」を読む。</p> <p>T 性のあり方を決めつけたり、からかったりすることは人権侵害です。また、他の人に勝手に話すことも人権侵害になります。(P.3)</p> <p>4 性の多様性リーフレット「4.全ての色を大切にしよう」を読む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • アウティングは、その人の居場所を奪ったり、プライバシーの侵害になるため、絶対にしないように伝える。 • 相談されて一人で抱えきれない場合は、信頼できる大人に相談する方法もあることを伝える。 <p>◎性の在り方は多様であることを伝える。(知識)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 性のものさしは発表させたり、友達と話し合ったりしないようにする。

	<p>T 性のあり方は、「男」「女」ではっきり分けられるものではありません。そのため、色の境界がない「グラデーション」や「レインボー」に例えられます。一人一人の色のあり方を大切にしましょう。</p>	<p>考えさせる場合は、記入ではなく、心の中で考えるようにさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> •ものさし上の位置が一人一人違うため、組み合わせは、無数で人の数だけ性のあり方が存在するので、全ての色を大切にするように伝える。
<p>終末 5分</p>	<p>5 今日の学習を振り返る。</p> <p>T ワークシートに感想を書きましょう。</p> <p>T 性のありかたについて悩みがあったら、抱え込まないで先生などに相談しましょう。また、電話などで相談できる窓口もあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> •性のあり方を相談するかは児童の自由なので、相談を強要しないようにする。

性のあり方について考えよう

名前 ()

1. 行動について良いと思うものには○、いけないと思うものには×に丸を付けましょう。また、理由も書きましょう。

<p>① 「女の子だから」、「男の子だから」などという言葉を使う。</p>	<p>○ ・ × 理由 _____</p>
<p>② 「好きな男の子（女の子）は？」とたずねる。</p>	<p>○ ・ × 理由 _____</p>
<p>③ 性のあり方を、笑いやからかいのネタにする。</p>	<p>○ ・ × 理由 _____</p>
<p>④ 「オカマ」、「オネエ」などの言葉を使う。</p>	<p>○ ・ × 理由 _____</p>

2. 授業の感想を書きましょう。

中学校・授業展開例①

- 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「多様性の尊重・共生」）
それぞれの性のあり方の多様性について考え理解することで、性のあり方は多様であり、全ての人に関わるものとして捉えることができるようにする。
・関連する個別の人権課題：性的指向・性自認
- 関連する教科等
 - ・学級活動（２）日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
（ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成）
 - ・技術・家庭科 家庭分野
A 家族・家庭生活（１）自分の成長と家族・家庭生活
（ア 家族や地域の人々と協力・協働）
 - ・社会 公民的分野 A 私たちと現代社会（２）現代社会を捉える枠組み
（ア（イ）個人の尊厳と両性の本質的平等）
 - ・保健体育 保健分野（２）ア 心身の機能の発達と心の健康について理解を深めるとともに、ストレスへの対処をすること。
 - ・道徳 A [向上心、個性の伸長] B [相互理解、寛容]
- 具体的な活用場面
 - ・生徒が新しい学級に慣れてきた時期
 - ・校外学習や修学旅行の事前指導
（悩んでいる生徒が教職員に相談しやすい環境をつくる）
- 展開

時間	学習活動 発問（T） 生徒の反応例（S）	教師の働きかけ（・） 人権教育上の配慮（◎）
導入 10分	1 ジェンダークイズを行う T パワーポイントの文章を読みどのような状況か、個人で考えてください。 T 周囲の人と意見交換をしてください。 S 状況がよく分からない S 外科医には離婚歴があった。	・外科医が女性であることを伝え、無意識のうちに男性（や、異性カップル）であるという「思い込み」をもっていることはないだろうかと投げかけ、知らないうちに、性に対する価値観が固定されていることに気づけるようにする。 ・外科医と軽傷の父が同性カップルである場合なども考えられることを伝える。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px auto; width: 80%;">性の多様性について考えよう</div>		

<p>展開 30分</p>	<p>2 性の多様性について考える。 T 4つの性の組み合わせについて考えてみましょう。 ○○○を推測させる。 「○○○の性」「○○○の性」「○○になる性」「○○する性」</p> <p>T グラフを見て様々な組合せ（グラデーション）を考えましょう。</p> <p>3 さまざまな性のあり方 SOGI・SOGIE の多様性について知る。 T 私たちの性的指向、性自認、性表現のあり方は非常に多様です。それらは一部の人だけの話ではなく、すべての人にかかわることです。 T SOGI・SOGIEという言葉聞いたことがありますか。 S 聞いたことがない。 S 初めて聞いた。 S 言葉だけは知っている。</p> <p>4 「多様な性を大切にできる学校」について考える。 T どんな人にとっても生活しやすい学校にするためにはどうしたらいいと思いますか。 S 性は多様であることを知る。 S 相手のことを理解する。 S 人との違いを大切にする。 S 人間性、中身を見る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 固定概念や思い込みの性ではなく、性の多様性に気付かせる。 • 4つの性を理解させ、それぞれ別のものと考えることが大事であり、その表現も自由であることを知る。言葉だけの理解にならないように気を付ける。 • 性のものさしを知られたくない生徒もいるため発表させたり友達と話し合ったりしないようにする。 <p>◎「普通」や「普通ではない」と捉えるのではなく、どの性のあり方も平等なものであることを理解させる。真剣に考えられるような雰囲気をつくる。</p> <p>◎性的マイノリティの方で、実際に職場や学校などで差別的な発言をされたことがあると回答した方の割合をデータで示す。 →全体の70%以上が経験している。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 個人でタブレット端末などに意見を出させ、全体で共有する。 <p>◎ホモ、オカマ、レズなどの発言があった場合は、差別的に聞こえることがあるため使用しない方がよいことを伝えるとともに、何気ない言葉で傷つけていることがあるかもしれないことを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 話合いなどはせず、様々な意見をくみ取って考えを広げるようにする。
<p>終末 10分</p>	<p>5 ふりかえり・感想記入 • もう一度ジェンダークイズをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 導入でのクイズを思い出しつつ行

	<p>T パワーポイントの文章を読み、どのような状況か、個人で考えてみましょう。</p> <p>T 周囲の人と意見交換をしてみましょう。</p> <p>S 2人で話し合ったほうがいい。協力するのが大事だと思う。</p> <p>S レストランは遅くまでやってるから父親は大変だと思う。</p> <p>S シェフはお父さんなのかな。もしかしたら女性かもしれない。</p> <p>S 男だと思ってた</p> <p>S 思い込みがなかなか取れない</p> <p>T この文からはいくつかの状況が考えられますね。</p> <p>T 今日の授業で気付いたこと・感じたことをワークシートに記入しましょう。</p> <p>S 自分のことを「普通の人」と思っていたが、性のあり方はさまざま、すべての人にかかわることがわかった。</p>	<p>う。多様性や思い込みについて生徒に気付かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いが進まない場合は、登場している人について整理してみるなどの助言をする。 ・一つの状況を考えてイメージが固まっている生徒には、他にも状況が考えられないかと問いかける。 ・考えられる状況をいくつか説明する。 ・なかなか書けない生徒には、ワークシートやリーフレットを見ながら、授業を振り返ってみよう、声をかける。
--	--	--

性の多様性について考えてみよう！

組 番 氏名

①多様な性について、知っていますか？

○○○の性
○○○の性
○○になる性
○○する性



男	女
男	女
男	女
男	女

性のあり方は十人十色！

②さまざまな性のあり方について…

◎一部の人の話ではなく、

() に関わること！



今日の振り返り（気付いたこと・感じたこと）

性の多様性について考えてみよう！

組 番 氏名

①多様な性について、知っていますか？

- ① ② ③ の性
- ④ ⑤ ⑥ の性
- ⑦ ⑧ になる性
- ⑨ ⑩ する性



男	女
男	女
男	女
男	女

性のあり方は十人十色！

②さまざまな性のあり方について…

◎一部の人の話ではなく、

(**全ての人**) に関わること！



今日の振り返り（気付いたこと・感じたこと）

ジェンダークイズ

大学病院に、ある腕利きの外科医が勤めていました。

ある日のこと、その医師が難しい手術を無事に成功させて手術室を出ると、看護師から緊急の連絡がありました。

「先生、交通事故にあった患者さんが、今、運ばれてきました。事故にあったのは、父親と息子さんの親子2人です、父親は重体、息子さんも大けがです。」

「わかった、すぐ行く！」

するとそこには、大けがをした男の子が横たわっていました。医師は、その男の子の顔を見た瞬間、驚いてしまいました。

その男の子は、医師の息子だったからです！！

しかし、父親は事故にあっていて、確かに重体とのことでした。

これは一体、どういうことでしょうか？

性の多様性について考えよう！

性を理解するうえで知っておきたい言葉

○○○の性	男		女
○○○の性			
○○になる性	男		女
○○する性	男		女





S O G I
S O G I E

		<p>異性を恋愛対象とする人 ヘテロセクシュアル</p>
		<p>L 女性を恋愛対象とする女性 レズビアン</p>
		<p>G 男性を恋愛対象とする男性 ゲイ</p>
		<p>B 男性と女性の両方を恋愛対象とする人 バイセクシュアル</p>
		<p>出生時に割り当てられた性別のまま生きる人 シスジェンダー</p>
		<p>T 出生時に割り当てられた性別とは異なる性別で生きる人 トランスジェンダー</p>
	<p>性自認 指向性 自認 向的</p>	<p>Q 性自認や好きになる性がわからない人 クエスチョニング</p>

一部の人のお話ではなく、
 (**全ての人**)
 に関わること！

全ての人が、このような考え方を
 SOGI・SOGIEという要素で語る
 ことが大切です。

考えてみよう…

70%

どんな人にとっても生活
しやすい学校にするため
にはどうしたらいいだろう？



私とパートナーは共働きをしているので、子育ても家事も共同でしていこうと言っていたのに、実際に子どもが産まれて数年経ったころには、シェフのパートナーは仕事で帰りが遅いこともあり、保育士で定時に帰れる私が育児、家事をほとんどやるようになりました。パートナーは休日くらいしか手伝ってくれず、どうしたらよいか悩んでいます。」

これは一体、どういうことでしょうか？

中学校・授業展開例②

- 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「多様性の尊重・共生」）
性の多様性の尊重について学ぶことで、自分を含めた全ての人の性の多様性を大切に
し、全ての人が安心して学校生活を送ることができるようにする。
・関連する個別の人権課題：性的指向・性自認
- 関連する教科等
 - ・学級活動（２） 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
（ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成）
 - ・社会 公民的分野 A（２） 現代社会を捉える枠組み ア（イ）
 - ・保健体育 保健分野（２） ア 心身の機能の発達と心の健康について理解を深めると
ともに、ストレスへの対処をすること。
 - ・特別の教科道徳 A [向上心、個性の伸長] B [相互理解、寛容]
- 具体的な活用場面
 - ・生徒が新しい学級に慣れてきた時期
 - ・校外学習や修学旅行の事前指導
（悩んでいる生徒が教職員に相談しやすい環境をつくる）
- 展開

時間	学習活動 発問（T） 生徒の反応例（S）	教師の働きかけ（・） 人権教育上の配慮（◎）
導入 5分	1 「多様性」「尊重する」という言葉の 意味を考える。 T 「多様性」という言葉の意味を考え て、自分の言葉で書いてみましょう。 S いろいろ S さまざま T 「尊重する」という言葉の意味を考え て、自分の言葉で書いてみましょう。 S 大切にする S 尊いものとして扱う	・自分で思い浮かんだことを書けばよ いということを伝える。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 性の多様性を尊重するメッセージを考えよう </div>	
展開 40 分	2 性の多様性を尊重しているメッセー ジについて考える。 T リーフレット「3. 性の多様性を尊 重しよう」メッセージの例を読んで、 考えたことを発表しましょう。	・「アウティング」についての説明を加 える。 ・「尊重」という言葉の対義語について

	<p>S 友達と話しているときに「好きな男子（女子）いる？」ということをしてしまっているかもしれない。</p> <p>S 言い方を少し変えるだけでも、いろいろな性のあり方を尊重した言い方になると思う。</p> <p>T 性の多様性について、人それぞれに抱えている悩みについて、考えたことを発表しましょう。</p> <p>S 「男子（女子）なんだから～」と言われたことがあるし、自分もやってしまったことがあるかもしれない。</p> <p>S 混合名簿になった。</p> <p>3 性の多様性を尊重しているメッセージカードを作成する。</p> <p>T いろいろな性のあり方を尊重するメッセージを考えてみましょう。</p> <p>S ありのままの君がかっこいいよ。</p> <p>S 自分らしく生きてくことが一番いいよ。</p> <p>T グループで話し合い、メッセージカードを作りましょう。</p> <p>T 各グループのメッセージカードを発表する。</p> <p>4 「アライ」について知る。</p> <p>T 「アライ」について考えましょう。</p> <p>T 自分がカミングアウトされたらどうするか、ということを考えましょう。</p>	<p>も考えさせる。（対義語：「無視」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去の言動でよくなかったことを振り返るだけでなく、よかったことも振り返り、今後どのような言動をしたらよいかということを考えられるような声かけをする。 ◎自分を含めたすべての人の性の多様性を大切にすることをメッセージになるように配慮する。 ・個人で考えたメッセージのよさを生かして、グループのメッセージカードができあがるように声かけをする。 ・メッセージに込めた思い・意図などが全体に伝わるように発表させる。 ・真剣な態度で発表し、真剣な態度で聞くことができるよう指導する。 ・「アライ」の言葉の意味について説明するとともに、自分がカミングアウトされたときにはどうしていったらよいかということ伝える。 ・「カミングアウトしてもらおう」という気持ちを持つことも大切であることを伝える。
<p>終末 5 分</p>	<p>5 振り返り・感想記入</p> <p>T 今日の授業で気付いたこと・感じたことをワークシートに記入しましょう。</p> <p>S 今までの自分の言動を振り返ること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・記入できていない生徒には、今日の

	<p>ができた。 S 自分も含めてすべての人を大切に していきます。</p>	<p>学習を振り返りながら、今までの自 分の言動を考えて、これからどうし ていきたいか、ということを考えて みるよう声かけをする。</p>
--	--	---

1 「多様性」とは？

2 「尊重する」とは？

3 メッセージ（個人）

4 メッセージ（グループ）*背景も考えてみましょう。

(背景)

5 振り返り・感想

6 メモ（「大切だ」「なるほど」と思ったことを書きましょう）

高等学校・授業展開例①

- 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「多様性の尊重・共生」）
 それぞれの性のあり方の多様性について考え理解することで、日常生活の中で当たり前前と思っていることを、性のあり方の多様性の考えを基に見直すことができるようにする。
 - ・関連する個別の人権課題：性的指向・性自認
- 関連する教科等
 - ・特別活動 ホームルーム活動
 - (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
 - (ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成)
 - ・保健体育 保健
 - (3) ア 生涯を通じる健康について理解を深めること。
- 具体的な活用場面
 - ・新入生が学校生活に慣れてきた時期
 - ・配慮を要する場面の事前指導（健康診断、宿泊行事 等）
- 展開

時間	学習活動 発問 (T) 生徒の反応例 (S)	教師の働きかけ (・) 人権教育上の配慮 (◎)
導入 5分	1 自分自身のことで不安などを感じていることを考える。 T 学校生活送る上で、心配に思っていること、配慮をしてもらいたいと思っていることを書きましよう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">性の多様性について考えよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で思い浮かんだことを書けばよいということを伝える。 ・秘密にしておきたい、書きたくないことは書かなくてもよいことを伝える。
展開 40分	2 価値観の多様性の尊重について考える。 T 「あなたにとって大切なものは？」を考えてみましょう。 S 時間が1位 S お金が1位 S 友達が1位 T 「あなたにとって大切なものは？」について、グループで話し合い、自分とは異なる考えの人を説得してみましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート1に記入させる。 ・時間、お金、友達を大切だと思う順で順位を付けさせる。 ・その順位にした理由を考えさせる。 ・自分とは異なる順位を付けた人を、自分と同じ順位になるよう、工夫して説得を試みるよう声かけをする。

	<p>T 他の人から説得されたときにどのように感じたか発表しましょう。</p> <p>S 他の方の考えも参考になったが、自分の考えを変えようとは思わなかった。</p> <p>S 自分の考えを否定されたような気がして、嫌な気持ちになった。</p> <p>3 性の多様性の尊重について考える。</p> <p>T 性のあり方について考えてみましょう。</p> <p>T さまざまな性のあり方について考えてみましょう。</p> <p>T 自分が、性を決めつけるような声かけや考えをした、またはされた経験について考えましょう。</p> <p>S 「女子だからピンクの服を着た方がいい」と言われたことがある。</p> <p>S 「男子は力仕事を担当してください」と言ってしまったことがある。</p> <p>T 人のセクシュアリティとは何通りあるのか、考えてみましょう。</p> <p>S 1 2通り</p> <p>4 性の多様性を尊重する社会について考える。</p> <p>T 例を基に、性の多様性を尊重する社会について考えましょう。</p> <p>S すべての人が学校生活を送りやすい環境になるのはすばらしいことだと思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 他の方の考えを参考にしつつも、自分の考えは大切にしていよいことを伝えるとともに、無理に自分の考え方を押し付けてはいけないことを伝える。 ◎他の方の考え方・感情を感知するとともに、個人の価値を尊重することができる。 • リーフレットを確認しながら、性のあり方について説明をする。 • リーフレットを確認しながら、さまざまな性のあり方について説明する。 • ワークシート2に記入させる。 • 生徒が想像しやすくなるよう、具体的な例を挙げて説明する。 • 学習資料②を提示して考えさせる。 • 人の性について決めつけることはできず、セクシュアリティは人それぞれであるということを伝える。 • 学習資料②ほ他にも多くのあり方があるということを伝える。 • 学習資料③～⑥を提示する。 • 例示したものが、もし学校で導入されたら、という視点で考えさせる。 • これまでの生活で経験のないものには戸惑う気持ちがあるという考えにも共感的な態度を示す。
--	--	---

	S 例えばジェンダーレストイレが設置されたとしたら、戸惑う気持ちがあるかもしれない。	
終末 5 分	<p>5 振り返り・感想記入</p> <p>T 今日の授業で気付いたこと・感じたことをワークシートに記入しましょう。</p> <p>S 今までの自分の言動を振り返ることができた。</p> <p>S 自分も含めてすべての人を大切にしていきます。</p>	<p>・記入できていない生徒には、今日の学習を振り返りながら、今までの自分の言動を考えて、これからどうしていきたいか、ということを考えてみるよう声がけをする。</p>

学習資料①



「セクシュアリティ」

身体だけではなく、その人自身の性のあり方のことを「セクシュアリティ」といいます。

その要素は大きくいうと4つの要素が考えられます。

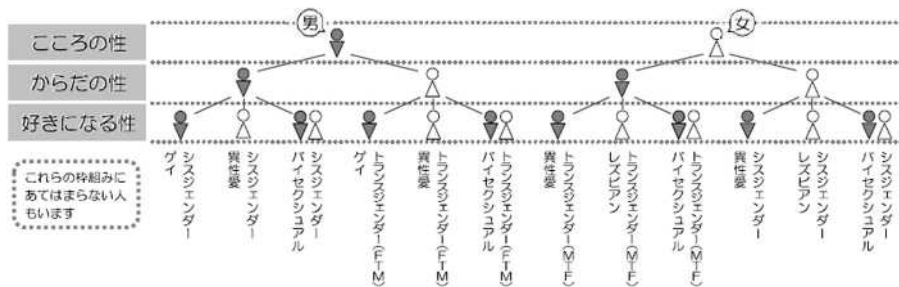
(これらの要素にあてはまらない人もいます)

- <こころの性> <からだの性>
- <好きになる性> <表現する性>

学習資料②

(3) セクシュアリティの多様性

セクシュアリティのそれぞれの要素について、便宜上、仮に「男性」と「女性」に二分したとしても、下図のようにたくさんのセクシュアリティが存在します。実際はこの図よりも更に多様なものです。



セクシュアリティの例

- ◆異性愛（ヘテロセクシュアル）
 <こころの性>と<好きになる性>が異なること
 - ◆同性愛（ホモセクシュアル）
 <こころの性>と<好きになる性>が同じこと
 <こころの性>が女性で<好きになる性>も女性の人…**レズビアン**
 <こころの性>が男性で<好きになる性>も男性の人…**ゲイ**
 - ◆両性愛（バイセクシュアル）
 <好きになる性>が異性の場合も同性の場合もあること
 - ◆トランスジェンダー
 <こころの性>と<からだの性>が一致しないこと
 <こころの性>が女性で<からだの性>が男性の人…**MTF (Male to Female)**
 <こころの性>が男性で<からだの性>が女性の人…**FTM (Female to Male)**
 *一定の医学的基準にあてはまる場合…**性同一性障害(診断名)**
 - ◆シスジェンダー
 <こころの性>と<からだの性>が一致していること
 - ◆Xジェンダー
 <こころの性>が男女のどちらにも定まらないこと
 - ◆性分化疾患
 <からだの性>の発達が通常とされる状態とは異なること
 現在は医学的検査を受けて男性/女性に判別される
 - ◆無性愛（アセクシュアル）
 他者に対して恋愛感情や性的欲求を抱かないこと
 - ◆クエスチョニング
 自分のセクシュアリティが分からないこと、決められないこと、あえて決めないこと
- レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダーの頭文字を取って**LGBT**といいます。
- この4つ以外のセクシュアリティも含めたセクシュアルマイノリティ（性的少数者）の総称としても用いられることがあります。

「ホモ」「レズ」「オカマ」「オナベ」「おんなおとこ」「おとこおんな」といった言葉は、差別的な意味合いを含みます。呼称だけでなく、性的マイノリティを「いないもの」とした冗談や無意識の発言に、発した本人に差別的な意思がなくても傷つく人がいるということを、心に留めておく必要があります。

「新たな人権課題に対応した指導資料」
 (平成28年度、埼玉県教育局市町村支援部人権教育課)

学習資料③

” NY では「オールジェンダートイレ」が当たり前？ 日本人が知らない世界の新常識”
telling, (朝日新聞社. 令和2年2月12日)
<https://telling.asahi.com/article/13083290>, (参照 令和5年1月18日)

学習資料④

” 「あり？なし？ 学校のユニセックストイレ、英国で議論。」”
(ニューズウィーク日本版. 平成29年10月6日)
<https://www.newsweekjapan.jp/stories/world/2017/10/post-8601.php>,
(参照 令和4年10月7日)

学習資料⑤

<学校生活の各場面での支援について>

項目	学校における支援の事例
服装	自認する性別の制服・衣服や、体操着の着用を認める
髪型	標準より長い髪型を一定の範囲で認める(戸籍上男性)
更衣室	保健室・多目的トイレ等の利用を認める
トイレ	職員トイレ・多目的トイレの利用を認める
呼称の工夫	校内文書(通知表を含む)を児童生徒が希望する呼称で記す 自認する性別として名簿上扱う
授業	体育又は保健体育において別メニューを設定する
水泳	上半身が隠れる水着の着用を認める(戸籍上男性) 補習として別日に実施、又はレポート提出で代替する
運動部の活動	自認する性別に係る活動への参加を認める
修学旅行等	1人部屋の使用を認める 入浴時間をずらす

” 「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について。」 “
(平成27年4月30日 文部科学省)

https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/27/04/1357468.htm,
(参照 令和4年10月7日)

学習資料⑥

” 第6回(2019年度)澤柳政太郎記念東北大学男女共同参画奨励賞に、「埼玉大学みんなの
トイレプロジェクト」が選ばれました!” ニュース, (令和元年10月31日 埼玉大学)
https://www.saitama-u.ac.jp/news_archives/2019-1029-1803-19.html,
(参照 令和5年1月)

参考資料①

” 「はじめてのトランスジェンダー」” trans101.jp. 2021.
<https://trans101.jp/>, (参照 令和4年10月7日)

1 あなたにとって大切なものは？

□下の3つの項目を、大切だと思う順にランキングしましょう。
また、なぜそのような順位にしたか理由を考えましょう。

「時間」 「お金」 「友達」

1位		2位		3位	
----	--	----	--	----	--

2 セクシュアリティについて

□リーフレット、学習資料を参考に、以下の〔 〕に言葉を入れましょう。

1 セクシュアリティの4要素

① [] の性] 性自認 : gender identity 自分自身の性別をどう認識しているか。	② [] の性] 生物学的性 : sex 外性器・内性器・性腺・染色体の状態や、 性ホルモンのレベルなどから決定される。
③ [] の性] 性的指向 : sexual orientation 恋愛や性愛の対象となる性別のこと。	④ [] の性] 性表現:gender expression 服装や振る舞い等の「男らしさ」「女らしさ」といった社会的な性

2 様々な性のあり方（セクシュアリティ）

●性自認について

トランスジェンダー	〈こころの性〉に対し [] の性] に違和感をもつこと。 生まれた時にあてがわれた性を越えて生きること。 ※一定の医学的基準にあてはまる場合：「[]」 (診断名)
シスジェンダー	〈こころの性〉に対し [] の性] に違和感をもたないこと。 生まれた時にあてがわれた性のまま生きること。

● 性的指向について

同性愛 (ホモセクシュアル)	〈こころの性〉に対し〈好きになる性〉が [] であること。 女性同性愛を []、男性同性愛を [] という。
異性愛 (ヘテロセクシュアル)	〈こころの性〉に対し〈好きになる性〉が [] であること。
両性愛 (バイセクシュアル)	〈好きになる性〉が [] の場合も、[] の場合もある こと。 「好きになる相手の性別は問わない」という意味で用いる人もいる。
無性愛 (アセクシュアル)	〈好きになる性〉が []、もしくはどこにも向かないこと。

「人権感覚育成プログラム（学校教育編）第2集」（平成31年3月、埼玉県教育委員会）

3 気付いたこと・感じたこと

(参考) 多様性を尊重する社会について

1 多様性を尊重する社会について、学校ができることは何だと思いますか？

2 多様性を尊重する社会について、学校外での社会ができることは何だと思いますか？

3 多様性を尊重する社会について、個人・あなたができることは何だと思いますか？

高等学校・授業展開例②

- 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「多様性の尊重・共生」）
 それぞれの性のあり方の多様性について知り、自分自身の価値観を見つめなおし、他者の多様なあり方について理解するとともに、その支援について知る。
 - ・関連する個別の人権課題：性的指向・性自認
- 関連する教科等
 - ・特別活動 ホームルーム活動
 - 内容（2） 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
 （ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成）
 - ・公民 公共
 - 内容 A 公共の扉 （1）公共的な空間を作る私たち
- 具体的な活用場面
 - ・新入生が学校生活に慣れてきた時期
 - ・配慮を要する場面の事前指導（健康診断、宿泊行事 等）
- 展開

時間	学習活動 発問（T） 生徒の反応例（S）	教師の働きかけ（・） 人権教育上の配慮（◎）
導入 5分	1 自分だけの秘密にしていることについて考える。 T 簡単には人には言えない自分の大切なことを、どういう人になら相談できると思うか考えてみましょう。 S 親 S 信頼している人 S 秘密を絶対に守ってくれると思う人 S 相談できる人はいない T 自分自身は相談してもらえる人にあてはまると思いますか。 S 思わない S 相談してもらえそうな人になりたい	・ワークシートを配布する。 ・ワークシート①に記入させる。 ・自分の中で秘密にしておきたいと思っていることをだれになら話せると思うか、具体的な人を思い浮かべてみるとよいことを伝える。 ・ワークシート②に記入させる。 ・今の自分自身のことを考えて、素直に答えればよいことを伝える。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 「性の多様性を尊重する」ことについて考えよう。 </div>	
展開	2 友達から性自認について相談されたときのことを考える。	

40分	<p>T 友達から「性別に違和感がある」と打ち明けられたら、まず何と声をかけるか考えましょう。</p> <p>S 突然のことに驚いてしまい、何とも言えない。</p> <p>3 「カミングアウト」「アウティング」について考える。</p> <p>T ワークシート③で考えたことと、学習資料①②の内容を比較しましょう。</p> <p>S 驚くと思うけれども、相手のことを思って話すことができるようにしたい。</p> <p>S 頭では分かったつもりだけれど、実際にそういうことがあったら、自分がどう反応できるかはやはりわからない。</p> <p>T ワークシート③④で考えたことについてグループで話し合しましょう。</p> <p>4 「アライ」について考える。</p> <p>T 「アライ」の取組について知っていることを発表しましょう。</p> <p>S コバトンとさいたまっちの絵があるステッカーを見たことがある。</p> <p>S 具体的な取組などは知らない。</p> <p>T 多様性について「自分に関係のあること」として行動するためにはどうすればよいか考えましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ワークシート③に記入させる。 • 自分ならどのような反応を思うか、思ったとおりのことを書けばよいことを伝える。 • 学習資料を配付する。 • リーフレット「3. 性の多様性を尊重しよう」、学習資料①②を基に、「カミングアウト」「アウティング」について説明する。 • ワークシート④に記入させる。 • 自分で思ったこと・考えたことを素直に書けばよいことを伝える。 ◎他の人の考え方・感情を感知するとともに、個人の価値を尊重することができる。 • 正解を考えるということではなく、一人一人の考えを尊重することを伝える。 • リーフレット「4. みんなで『アライ』になろう!」、学習資料③を基に、「アライ」について説明する。 • 「アライ」の取組について例示する。 • ワークシート⑤に記入させる。 • 記入できない生徒には、行動の例を示す。
終末5分	<p>5 振り返り・感想記入</p> <p>T 今日の授業で気付いたこと・感じたことをワークシートに記入しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ワークシート⑥に記入させる。

	<p>S 自分がだれかにカミングアウトされたらと考えると、驚くと思うけれど、話してくれた人のことを考えて対応ができるようにしたい。</p> <p>S 自分も、誰かになにかを相談することを考えて、自分も相談してもらえるように、日頃から人権を意識して行動したい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 記入できていない生徒には、今日の学習を振り返りながら、今までの自分の言動を考えて、これからどうしていきたいか、ということを考えてみるよう声がけをする。
--	---	---

- 1 あなたは、簡単には人には言えないような自分の大切なことを、どういう人になら相談できると思いますか。

- 2 あなたは、自分自身が相談してもらえる人にあてはまると思いますか。その理由も考えてみましょう。

- 3 あなたは、友達から「性別に違和感がある」打ち明けられたら、その友達に、まず何と声をかけますか。

- 4 「3」での自分の考えと比較して気付いたこと・考えたことを書きましょう。

- 5 多様性について「自分に関係のあること」として行動するためにはどうすればよいか書きましょう。

- 6 今日の授業で気付いたこと・感じたことを書きましょう。

学習資料

①「カミングアウト」「アウトティング」とは

カミングアウトとは、これまで公にしていなかった自分のセクシュアリティを自分の意志で他の人に伝えることです。

カミングアウトは必ずしも行わなければならないことではありません。自分が必要を感じていない場合やカミングアウトをしたいと思っていない場合は、カミングアウトをする必要はありません。

カミングアウトをきっかけに、それまでより生きやすくなることもあります。しかし、十分な理解を得ることができず周囲との関係が悪化するということもあります。カミングアウトをするかしないかを自分で判断できるように知識や情報を得ることが大切です。だれに対して行ったらよいか迷う場合や決意が固まらない場合などは、カミングアウトをする前に専門機関に相談することも一つの方法です。

カミングアウトをするときには、自分のセクシュアリティをただ知っておいてほしいのか、何か困っていることへの対応を望むのかを明確にしておくことも必要です。また、カミングアウトをするときには「いつ、だれに、どんな場面で、どのように」伝えるかをよく考えて実行しましょう。

アウトティングとは、本人の同意なくだれかが第三者にその人の秘密（この場合はセクシュアリティ）を伝えてしまうことです。カミングアウトを受けたときや偶然知ったときなど、他の人の秘密を話してしまわないように注意することが必要です。

②カミングアウトを受けたら

カミングアウトを受けたら、驚きやどう反応してよいかわからずに戸惑うこともあると思います。ただ、相手はもっと緊張して覚悟を持って話しているので、できるだけ落ち着いて、冷静に話を聞くことが大切です。

<対応のポイント>

- ①じっくりと最後まで話を聞く。
- ②「気のせいではないか」「考えすぎではないか」などと決めつけない。
- ③相手の言葉や気持ちをそのまま受け止める。
- ④自分を信頼して打ち明けてくれたことに「ありがとう」と伝える。
- ⑤他にだれに話しているのか、だれになら話せるかを確認する。
- ⑥自分ができることはあるかを確認する。
- ⑦支援につながる情報を調べて伝える。

*このポイントを参考にして、自分にできることを考えてみましょう。

③「アライ」とは

アライ (ALLY)とは、LGBTQが直面する社会的課題が自分たちみんなの問題であることを理解し、解決に向けて積極的に活動したい、支援したいと考えている人のことです。

多様性への理解が深く、例えばLGBTQが笑いの対象とされた場面で注意できるこ

とは当事者にとっては心強い存在となります。性の多様性のシンボルとしてレインボーグッズを身につけることで、自分はアライであるということを表明している人もいます。最近では多くの企業がLGBTQに配慮した環境や制度の整備などを進めています。自分の知っている企業がどのような取組をしているのかを調べてみると、社会的な関心の高さを実感できるかもしれません。

3 参考資料等

- 全体計画（中学校の例）
- 年間指導計画（中学校の例）
- 性の多様性関連用語集
- 関連資料

中学校人権教育全体計画(例)

- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学校教育法
- 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律
- 人権教育・啓発に関する基本計画
- 人権教育の指導方法の在り方について [第三次とりまとめ]
- 埼玉県人権施策推進指針

埼玉県教育振興基本計画
埼玉県教育行政重点施策
・人権を尊重した教育の推進

埼玉県人権教育実施方針
・県民が主体となる人権教育
・生涯を通じた人権教育
・人権感覚を培う人権教育
・共生の心を醸成する人権教育

〇〇市指導の重点目標
・児童生徒の発達の段階に応じて人権問題についての正しい理解を図る。

学校教育目標
意欲的に学ぶ生徒
心ゆたかな生徒
たくましく生きる生徒

人権教育目標
・人権を尊重する教育の徹底を図り、他者の痛みに共感できる豊かな人間性の醸成に努める。
・人権に対する正しい理解と認識を培い、差別を解消しようとする意欲と実践力を高める。

指導の重点
・安心して学び合える学習環境の整備
・共に学び合う関係づくり
・コミュニケーション能力の育成
・自他の人権を尊重する態度の育成

- 生徒、地域の実態
 - ・男女の仲がよい
 - ・学校行事をがんばる
 - ・部活動に熱心である
 - ・教育に対する関心が高い
- 保護者の願い
 - ・心身ともに健康な子供の育成

望ましい生徒像
・強い意志をもち、正しいことを最後までやり通す生徒
・豊かな心で人に接し、互いに尊重し合える生徒
・差別を許さず、差別に立ち向かって生活できる生徒

各学年の重点目標		
第1学年	第2学年	第3学年
中学校の集団生活になじみ、集団生活の中でいじめなどの差別をしない、ゆるさない態度を養う。	人権問題を正しく理解し、集団生活の中で人権を尊重する態度を養う。	人権侵害や差別問題について考え、自らの行動を通して明るい社会をつくらうとする態度を養う。

各教科等における人権教育の目標			
国語	様々な教材を通して、人間としての生き方や考え方を深め、感動する心や表現する力を育てる。	技術・家庭	情報モラルについて考え、行動できる態度を養う。よりよい家庭のあり方に気付き、実践できる態度を育てる。
社会	様々な人権問題や歴史を正しく理解し、差別や偏見を許さない態度を養う。	外国語	外国語の理解や表現を通して、国際的なものの見方や考え方・感じ方を育て、異文化の理解と外国人と共生する態度を育てる。
数学	数学的なものの見方や考え方を通して、論理的な思考や合理的な考え方を養う。	道徳	差別や偏見に気付き、自らを律し、他者を思いやる心を育てるとともに、道徳的实践ができるようになる。人間尊重の精神を育て、生命や自然への畏怖の念がもてるようになる。
理科	科学的なもの見方や考え方を養い、自然を愛する豊かな心情と真理を探究する力を育てる。		
音楽	合奏や合唱を通して、豊かな心情を育て、美しいものに感動する感性を育て豊かな情操を養う。	特別活動	望ましい集団活動を通して信頼関係を築き、互いのよさを認め、励まし合ったり協力し合ったりできる態度を育てる。自他を尊重し、進んで社会に貢献できる生き方を考えられるようになる。
美術	表現活動を通して、美しさを愛する豊かな感性を育てる。		
保健体育	自己の健康や安全に努め、運動を通して健康な身体と体力の向上を図り、集団としての協力性・連帯性を養う。	総合的な学習の時間	自らの課題を設定し解決する過程を通して、問題解決能力や自主的、創造的な態度を育てるとともに、自らの生き方について考えられるようになる。

各人権課題への取組	
女性 子供 高齢者 障害のある人 同和問題(部落差別) 外国人 性的指向・性自認 ケアラー・ヤングケアラー その他の人権課題	<ul style="list-style-type: none"> ・性別に基づく固定的な役割分担意識を是正し、人権尊重を基礎とした男女平等観を育む。 ・自他の権利を大切に、社会の中で果たすべき義務や自己責任を果たす生徒を育成する。 ・高齢社会に関する基礎的理解や介護・福祉お問題などに関する理解を深める。 ・障害のある人との交流の機会等を通じて、共生社会の実現に努める意識を身に付ける。 ・同和問題を正しく認識し、差別をなくしていける実践力を養う。 ・異文化を尊重する態度や異なる習慣・文化をもつ人々とともに生きていく態度を育む。 ・性的指向・性自認は一人一人異なり、尊重すべきものであるという理解を深める。 ・ケアラー・ヤングケアラーの存在や支援の必要性についての理解を深める。 ・H I V感染者等に対する偏見や差別の解消を図るとともに、インターネットによる人権侵害や新しい人権問題等、それぞれの問題状況について正しい行動をとれるようになる。

生徒指導
・生徒一人一人が成就感や存在感を得られる指導の充実を図る。
・自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成に努める。
・人権の尊重を基盤とする望ましい人間関係を育成する。

教育相談
スクールカウンセラー、相談員と教職員との連携を密にし、情報を共有する。

教職員研修
・人権課題を学び、人権感覚の高揚に努める。
・人権が尊重される学習活動づくり、人間関係づくり、環境づくりについての実践を交流する。
・授業研究を通して、「人権感覚育成プログラム」を活用した参加体験型学習を取り入れた指導方法等の工夫改善を図る。

家庭・地域との連携
・本校の人権教育のねらいや方針の啓発を図る。
・社会体験や交流活動を通して、豊かな人間性を醸成する。

校種間の連携
・校種間連携会議の定期的開催
・交流活動の充実

中学校第3学年 年間指導計画（例）

◎人権感覚育成プログラム（学校教育編）第2集 平成31年3月

*人権感覚育成プログラム増補版（学校教育編） 平成25年3月

○人権感覚育成プログラム（学校教育編） 平成20年3月

月	教科等	主題・題材名等	目 標	人権教育との関連
4	社 会	第一次世界大戦と社会 「広がる社会運動と普通選挙の実現」	大正デモクラシーの風潮の中、社会運動の高まりの中で、部落差別の解消を目指す動きが始まったことを理解する。	同和問題について正しく理解し、同和問題を解決しようとする態度を養う。 【同和問題】
5	学級活動	○あなたならどうする	他者の権利を侵害することなしに積極的に伝える力を養う。	意見を豊かに表現し、的確に理解し合えるように、コミュニケーション能力を培う。【コミュニケーション能力】
	技術・家庭	情報モラル	技術に関わる倫理観や他者と協働して粘り強く物事を前に進める態度を養う。	マナーを守ることが人権尊重につながっていることに気付く。【インターネットによる人権侵害】
6	学級活動	性の多様性を尊重するメッセージを考えよう	性の多様性の尊重について学ぶことで、自分とは違う性のあり方をお互いに認め合い、「一人一人違って当たり前」と理解し、全ての人々が安心して学校生活を送ることができるようにする。	生き方や価値観には多様性があることに気付き、それを尊重する姿勢を身に付ける。【多様性の尊重・共生】
7	社 会	◎多文化共生社会の中で生きる私たち	日本の中に見られる外国文化について考え、多文化共生と異文化理解の大切さに気付く。	互いの文化を認め、社会の一員としてよりよい社会を形成していこうとする意欲と態度を養う。【共感と連帯感】
9	学級活動	◎あなたは何を持って行きますか？	自然災害時等に対しての心構えや状況に応じて自他の安全を確保する適切な行動がとれる力を養う。	互いに支え合って生きていることを理解し、生命への畏怖の念をもてるようにする。【生命尊重】
	社 会	◎ケーキをおいしく食べるためには	話合いやロールプレイを通じて、公平の考え方について理解する。	公平とは何かを理解し、日常生活の中でよりよい人間関係の構築につなげられるようにする。【公平・公正】
10	社 会	○ちがいのちがい	自他の人権について考え、人権意識の基礎を身に付ける。	男女平等や男女共同参画の大切さに気付き、その実現に努めようとする意識や態度を培う。【参加・参画】
	社 会	○人権とは？	子供を含め、全ての人々が生まれながらにして持つ人権について理解を深める。	「子どもの権利条約」に照らして考え、自他の人権を尊重する態度を養う。【権利と責任】
11	道 徳	ドナーカード	生命の尊さを深く自覚し、自他の生命を尊重する態度を養う。	臓器移植に関連して生命の大切さに気付き、自他の生命を尊重する態度を養う。【生命尊重】
12	学級活動	○いいところ探偵	自己肯定的なキーワード群を手掛かりに自分や友人のよさを再認識し、積極的に行動する意欲を育む。	肯定的な自己理解を深めさせるとともに、自己尊重の感情を高める。【自己尊重の感情】
1	学級活動	◎ストレスに打ち勝て	心身の健康を保持増進するために、自己管理を行うことの意義やその方法を理解する。	自分を価値ある存在として肯定的に認め、受け入れることができるようにする。【自己尊重の感情】
2	数 学	*缶のまわりの長さを求めよう。	文字と式、及び一次関数の応用として、多面的な見方・考え方を育む。	自他の考えを尊重し、比較することで、自己表現力やコミュニケーション能力を培う。【コミュニケーション能力】

<性の多様性関連用語集>

アウトティング	ある人のセクシュアリティを、その人の同意なしに周囲に言いふらしてしまうこと
アセクシュアル(無性愛者)	恋愛感情や性的欲求をもたない人。「A (エイ) セクシュアル」ともいう。
アライ (Ally)	自分のジェンダーやセクシュアリティにかかわることだけではなく、自分とは異なるジェンダーやセクシュアリティをめぐる差別問題を自分の問題として理解し、行動する人。
X ジェンダー	男性、女性、どちらでもない、もしくは、どちらでもある性別として生きたい人。海外ではノンバイナリティ (NB)、ジェンダーキアともいう。
LGBT (LGBTQ)	レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字を取り、それぞれの差異と連帯を表した言葉。クエスチョニングを加えてLGBTQ と表す場合もある。
カミングアウト	これまで公にしていなかった自分のセクシュアリティを自分の意志で他の人に伝えること。閉じこもっていたクローゼットから表に出ていくことが語源とされている。 (Coming out of the closet)
クエスチョニング	自らのジェンダー／セクシュアリティについて、明確なアイデンティティをもっていない(あるいは、より積極的にもたない)人。あるいは、性自認や性的指向の区分自体に疑問を感じ、あえてもたない人。キアともいう。
シスジェンダー	生まれたときに割り当てられた性別と、自分が社会的、感情的、身体的に認識している性別(性自認)とが一致していること／人。多数の人がシスジェンダーであり、「普通」「当たり前」とはいわない。
ジェンダー	人を「女」「男」という2つのカテゴリーに分別する、社会的文化的な規範ないし観念。
性自認(ジェンダー・アイデンティティ／性同一性)	自らをどんな性別である／ない、と考えるのかなど、自分が社会的、感情的、身体的に認識している性別のアイデンティティ。
ジェンダー・バイアス	性別による偏見や固定観念。「男らしさ」「女らしさ」は、性別により固定されるものではない。
ジェンダー・フルイド	固定的な性自認をもたず、流動的な性を自認して生きること／人。
性的指向(セクシュアル・オリエンテーション)	自分がどのような性別の人に性的・恋愛的に惹かれるか、惹かれられないか、という方向性のこと。
性同一性障害 (Gender Identity Disorder : GID)	身体の性に違和感、不快感をもち、体を変え、性自認と一致した性で生きたいと強く望む人が治療を受ける際の診断名。なお、「性同一性障害」の位置付けは、WHOによるICD-

	11（国際疾病分類）では、「精神疾患」及び「障害」から除外され、性の健康状態における「性別不合（gender incongruence）」に変わった。
性別表現／性表現	服装や髪形などの見た目や、言動などで表現される性。「ジェンダー・エクспレッション」ともいう。
生物学的な性（セックス）	生物としてのヒトを「メス」「オス」という2つのカテゴリーなどに分別する生物学・解剖学的知見。
セクシュアリティ	人間の多様な性のあり方の総称。社会的、生物学的、心理的、法的、文化的などの側面を含む。
セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）	その人の性のあり方がマジョリティ（多数者）とは異なる場合、セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）と呼ぶ。LGBTQなどを含む。
SOGI（ソジ、ソギ）	Sexual Orientation（性的指向）and Gender Identity（性自認）の頭文字をとった言葉。性的に多数派にあたる人とセクシュアル・マイノリティの人を区別せず、すべての人の性の多様性について考えることができる概念として国際的に用いられている。また、Expression（性表現）を加えた「SOGIE」（ソジー）などの言葉も使われる。
トランスジェンダー	生まれたときに割り当てられた性別とは異なる性別で生きること／人。生まれたときに男性が割り当てられたが、女性として生きる人／生きたい人をトランス女性（MTF [Male to Female]）といい、生まれたときに女性が割り当てられたが、男性として生きる／生きたい人をトランス男性（FTM [Female to Male]）という。
バイセクシュアル（両性愛者）	性的指向が異性と同性の両方に向いていること／人。
パンセクシュアル（全性愛者）	相手の性別、セクシュアリティにかかわらずすべての人が性愛の対象となること／人。
ヘテロセクシュアル（異性愛者）	自分の性自認からみて性的指向が異性に向いていること／人。
ホモセクシュアル（同性愛者）	自分の性自認からみて性的指向が同性に向いている人。女性同性愛者は「レズビアン」、男性同性愛者は「ゲイ」という。*ホモやレズといった省略形は差別的に響く。

関連資料

1 埼玉県教育委員会刊行資料

○埼玉県のホームページからダウンロードすることができます。

- ・埼玉県人権教育課のホームページ

<https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/f2218/index.html>

資料名等	内 容	発行等年度
新たな人権課題に対応した指導資料	人権教育の指導実践例及び参考資料	平成28年度
人権感覚育成プログラム（学校教育編）第2集	人権感覚の育成を図るプログラム集	平成30年度
性の多様性の尊重に係るポスター	全てのセクシュアリティの児童生徒が安心して通える学校の環境づくりを推進するポスター	令和元年度
教職員用リーフレット「ひとりひとりが 自分らしく生きる」	学校の研修や取組及び相談対応等で活用する資料	令和2年度
児童生徒用リーフレット「たくさんの色 ふれ合おう。」	児童生徒が性の多様性の尊重について理解を深めるための資料	令和3年度
「学校における性の多様性を尊重した相談支援体制の充実に向けた検討会議」報告書	性的指向・性自認に悩みを抱える児童生徒の相談支援の充実方策を検討する会議の報告書	令和3年度
LGBTQについてみんなで学ぼう（保護者向け動画）	性の多様性についての理解を深めていただくための動画	令和4年度

2 文部科学省刊行資料

資料名等	内 容	発行等年度
性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施について	性同一性障害に係る児童生徒についてのきめ細かな対応の実施に当たっての具体的な配慮事項等	平成27年度
性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施について（教職員向け）	学校における性同一性障害に係る児童生徒の状況かや、学校等からの質問に対する回答をQ&Aにまとめたもの	平成28年度
いじめの防止等のための基本的な方針	いじめ防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進するために策定したもの	平成28年度 *最終改定
生徒指導提要	生徒指導に関する学校・教職員向けの基本書	令和4年度

○令和4年度性の多様性に係る「児童生徒用リーフレット」指導資料集作成委員会委員

藤間 隆子	加須市立加須西中学校校長	<委員長>
岩田 優花	滑川町立宮前小学校教諭	
濱中 幹弘	美里町立東児玉小学校教諭	
大坪 伸行	志木市立宗岡第二中学校教諭	
横川 真奈美	八潮市立大原中学校教諭	
江川 麻美	県立小川高等学校教諭	
草場 久貴	県立戸田翔陽高等学校教諭	

○監修

渡辺 大輔	埼玉大学基盤教育研究センター准教授
-------	-------------------

○事務局

有賀 弘一	市町村支援部人権教育課副課長
早野 裕之	市町村支援部人権教育課指導主事
山田 貴志	市町村支援部人権教育課指導主事
田中 稔浩	市町村支援部人権教育課指導主事